

わが家の防災メモ

避難(場)所	洪水時	土砂災害時
	津波時	地震時
	離散時の集合場所	

●家族メモ

氏 名	生年月日	血液型	勤務先・学校等の連絡先(携帯電話)

●緊急連絡先

名 称	電話番号	名 称	電話番号
水道(日南市役所水道課)	☎31-1171	宮崎地方気象台	☎0985-25-4031
下水道(日南市役所下水道課)	☎23-9977	南那珂農林振興局	☎23-4311
国道(国土交通省日南国道維持出張所)	☎23-1846	油津港湾事務所	☎23-3125
県道(日南土木事務所)	☎23-4661	宮崎海上保安部	☎22-3021
市道(日南市役所建設課)	☎31-1138	九州電力送配電株式会社	☎0120-986-964
日南市消防本部	☎23-1316	NTT西日本	☎113
日南保健所	☎23-3141	JR九州宮崎総合鉄道事業部	☎0985-51-5988
日南警察署	☎22-0110		

●救急告示医療機関

名 称	住 所	電話番号
宮崎県立日南病院	日南市木山一丁目9番5号	☎23-3111
日南市立中部病院	日南市大堂津五丁目10番1号	☎27-1111

火事・救急 **119** 番

警察 **110** 番

家族で、地域で、いざという時のために！

日南市防災マップ

【啓発編】



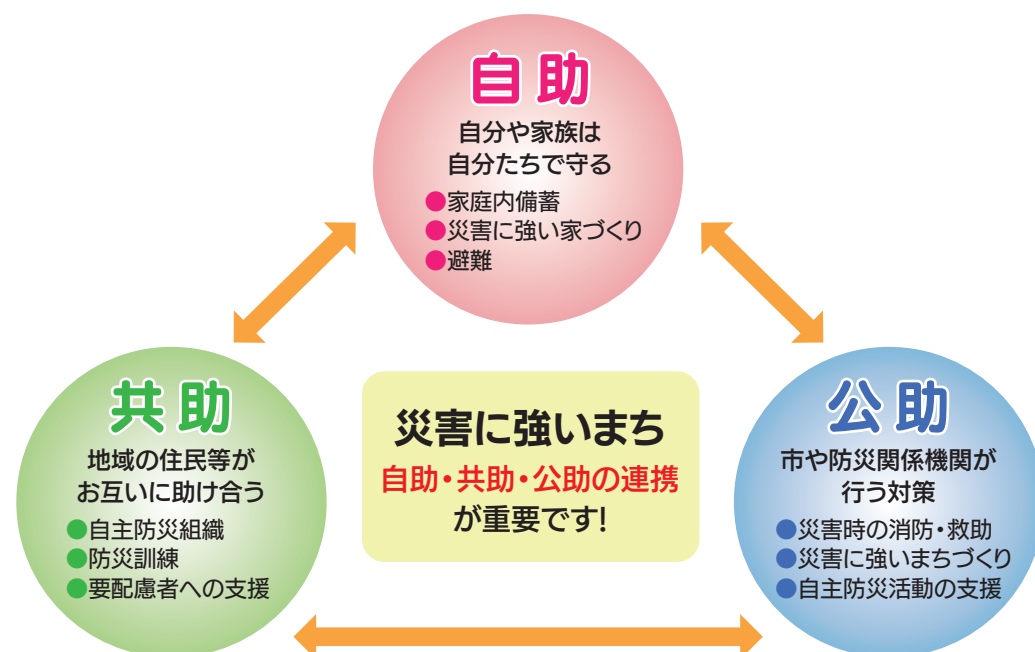
目次

【知識編】	防災気象情報などの標準的な発表の流れ……………	3
	大雨・洪水災害……………	5
	土砂災害……………	8
	地震……………	10
	津波・高潮……………	12
【心得編】	避難の心得……………	13
	情報の伝達経路と入手方法……………	15
	大雨・洪水災害時には……………	17
	土砂災害時には……………	18
	地震時には……………	19
	津波・高潮災害時には……………	20
【準備編】	災害への備え……………	21
	家族での備え……………	23
	地域での備え……………	24
【地図編】	市全域ハザードマップ……………	25

災害を乗り越えるためには～三助の連携～

洪水や地震等の災害発生を防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携することで、被害を減らすことができます。

災害を乗り越えるためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」、行政による「公助」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが重要となります。



この防災マップは、日ごろから土砂災害のおそれがある場所や避難所等を確認し、災害時の避難行動に役立てていただくことを目的として作成しました。

このマップを基礎的な情報として、普段生活している地域の状況(危険な箇所や過去の災害実績など)をみなさんで書き込み、災害時に有効に活用できる各家庭のオリジナルマップを作りあげることが大切です。

防災マップの使い方

- 1 自宅の位置を確認する。**
自宅の位置に印をつけましょう。
- 2 土砂災害警戒区域等や浸水想定区域を確認する。**
地図面から自宅周辺にある土砂災害警戒区域等、浸水想定区域を確認してください。
- 3 土砂災害、浸水被害以外の危険な場所を確認する。**
自宅周辺で、災害発生時等に危険と思われる場所を追記してください。
- 4 避難する場所を確認する。**
地図面に記載されている、土砂災害や浸水被害、地震等に対して安全な避難所等の名前と場所を確認してください。
- 5 避難経路を考える。**
安全な避難所等までの避難経路を考えて記入してください。危険の少ない経路を選びましょう。
- 6 災害時の対応を考える。**
「自宅周辺の危険な箇所」や「避難所等」、「避難経路」について、家族やご近所の方と話し合ってください。情報を共有し、いざというときに協力し合うことが大切です。
- 7 自分の目で確認する。**
②～⑥で確認した避難所等や避難経路について、実際に歩いて確認しましょう。
- 8 非常持ち出し品を準備する。**
P21の「一人ひとりの備え」を参考に、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。
- 9 わが家の防災メモを記入する。**
避難先や家族の集合場所、また、安否確認のための家族や知人の連絡先などを確認し、裏表紙にある「わが家の防災メモ」に記入しましょう。

家族のオリジナルマップを作成しましょう(詳細はP23参照)